里親に寄り添って

里親支援専門相談員　山本由美子



何らかの理由で両親らと一緒に暮らすことができない子どもを育てる環境として、国は、家庭環境である里親を最優先に位置付けています。施設は、里親と連携して支援することが求められています。

その調整の役割は、児童相談所が担っていますが、愛知県では、乳児院、児童養護施設に里親支援専門相談員を配置して、児童相談所の里親担当職員、里親委託等推進員や、里親会などと連携して、施設の子どもの里親委託を進めたり、里親が集まって話をする「里親サロン」を開催したり、委託後訪問などを通じ、里親支援をしています。また、里親のことを知ってもらう啓発活動なども行っています。里親支援専門相談員は、令和元年度は、県内十児童相談所管内に一施設ずつ、計十施設に配置されています。青葉学園は平成三十年度に配置されました。

里親は、登録してからいつになったら縁があるのか、電話が鳴るたびにドキドキしながら楽しみに日々を過ごすといいます。委託が決まった時に見せるうれしそうな笑顔に、私も一緒に幸せな気持ちになります。

里親宅に委託される子どもは、親と離れて心に傷を負っていることも多く、子どもたちが抱える問題に、施設では複数の専門職が関わって対応しますが、里親宅では、委託直後から夫婦だけの子育てになりがちです。現実に次々に起こる「試し行動」などの困りごとに「理想の子育てができない」と悩み、「自分の対応が悪いからなのでは」と罪悪感で、自身を責めたりします。



店舗でブースを設けての里親啓発活動

里親支援専門相談員は、研修時から里親に関わり、関係性をつくり、委託後の悩みに対しても早期に察知し、寄り添うことができるよう心掛けています。

啓発活動をしていると、まだ里親について知らない人が多く、驚かれることも多い現状です。令和元年度からは、支援のお手伝いをする「サポーター事業」という試みも始まりました。

子どもが家庭で育つことで、里親から変わらない愛情を感じ、大人に対して信頼を持てるようになってくれると信じています。

里親支援専門相談員として、児童相談所、施設、里親のパイプ役となって、子どもにとって安心できる質のよい養育とは何かを考え、そのための細やかな支援をして、里親家庭を応援していきたいと思っています。

（里親支援専門相談員　山本由美子）

人事異動

【採用】＝4月1日
あおば館保育士小野田有加、わかば館児童指導員中島愛基、わかば館保育士曾我衛、調理員次呂久好美


小野田有加


中島愛基


曾我衛

次呂久好美

◆非常勤職員　わかば館児童指導員加藤広大、同心理士富田未優、▽精神科医・羽塚康子▽小児科医・福島俊郎

【異動】＝4月1日
あおば館副館長兼指導療育部長　高嵜孝一▽家庭支援専門員（法人本部職員）平岡晴香▽法人本部職員（あおば館）林美歩

【死亡退職】＝5月13日
わかば館主任　宮田典幸

令和元年度表彰

永年勤続表彰

二十年　高嵜孝一指導療育部長▽十五年　園原基治事務課長、伊藤洋一わかば館指導課長、竜栄貴あおば館係長、▽五年　宮地拓朗あおば館児童指導員、横井佑太わかば館心理士

2019（令和元）年　主な学園関係の行事

1月
1日　白山宮初詣
14日　BOYS AND MEN招待
19・20日　伊那スキー村
26日　スターターズセミナー

2月
1月30日～3月3日　わかば館個室化工事（あさぎ）
3日　寿し正　恵方巻き寄贈
施設長会親善マラソン大会、旅立ちセミナー

3月
11日　テーブルマナー教室
1日　高校卒業式
2・3日　ディズニーランド招待（あおば）
16・17日　USJ招待（わかば）
23日　巣立ちの会

4月
3月30日～4月9日　わかば館個室化工事（もえぎ）
27日～5月5日　らあめん訪問
5月
GWイベント行事、外出
15日　職員研修（福井県一陽視察）

6月
12日　職員研修（福井県一陽視察）
15日　尺八招待

7月
22日　中日青葉学園見学会
13日　中日森友隊の伐採
15日　相撲招待
20日　狂言招待

8月
7日　ユーリカ演劇招待（ア・マノ招待）
26日　老人ホーム和太鼓慰問

9月
14日　ルーキーズ企業展

10月
5日　焼肉訪問
26日　青葉交流会

11月
9日　USJ招待
17日　音楽の集い
21日　七五三（白山宮）
23日　紙飛行機大会
27・29日　全養協徳島大会
30日　分校地鎮祭

12月
7日　クリスマスリース教室
14日　中日森友隊の伐採
21日　花火招待・アラジン招待
22日　スケート招待
23日　クリスマス会
25日　フットサル大会

行事を楽しみ、部活動で活躍

行事など

元年度は、子どもたちが楽しめるように、そして地域の方々に学園を知っていただき、学園が地域に貢献でくるよう、さまざまな催しや、イベントを行いました。六月には、就職やボランティアなどで学園を知りたいと考える大学生らを対象とした「学園見学会」を開催。十月恒例の「青葉祭り」は元年度は中止し、代わって、地域の方々の協力を得て、子どもたちが楽しむことができる催しとして「青葉交流会」を開催しました。

夏の日的別活動では、あおば館、わかば館に分かれて、川でラフティングを楽しんだり、海水浴や無人島探検をしたり、サファリパークなどに出かけました。


青葉交流会で本棚作りに取り組む子どもたち

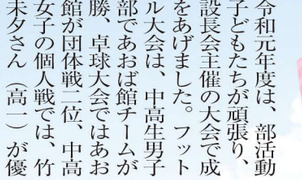

ラフティングを楽しむ子どもたち

部活動

令和元年度は、部活動で子どもたちが頑張り、施設長会主催の大会で成果をあげました。フットサル大会は、中高生男子の部であおば館チームが優勝、卓球大会ではあおば館が団体戦二位、中高生女子の個人戦では、竹本未夕さん（高一）が優勝しました。

あおば館の小規模化の流れで子どもの数が少なくなり、両館の子どもが一緒に練習する機会が増えました。ソフトボールでは、第二部で合同の学園チームを作って参加し、準優勝しました。初戦で、学園とわかば館が対戦するめぐりあわせにもなりました。




卓球中高生個人女子で優勝した竹本未夕さん

フットサル大会優勝

十二月二十五日に、名古屋市港区の武田テバオーシャンアリーナで行われた施設長会主催のフットサル大会の中高生男子の部で、あおば館チームが見事、優勝しました。

優勝は平成二十八年度大会に続き、通算五回目です。

中高生の部では、計5試合で8得点をあげた石橋永遠君がMVPに選ばれました。初戦で、岡崎平和学園と対戦し1対1の引き分けによるPK戦で敗戦しましたが、敗者復活戦を勝ち抜き、決勝では再び岡崎平和学園と対戦。今度は4対1で雪辱を果たしました。名古屋オーシャンズのサテライトチームとの対戦もあり、試合を楽しんでいました。


優勝旗を手にするあおば館の中高生

音楽の集い　器楽、和太鼓披露

十一月十七日に豊川市文化会館で開かれた第四十一回音楽の集い豊川大会には、器楽演奏と和太鼓で出場しました。器楽では、あおば館はバックナンバーの「大不正解」、わかば館はDOESの「曇天」を演奏しました。ともに、人気漫画「銀魂」の実写版とアニメ版のテーマ曲で、子どもには大人気の曲です。

和太鼓クラブ「鼓太舞（こだま）」は、あおば、わかば両館合同で三十人の子どもが出演。「楽（らく）」と「清流のぼり打ち」の二曲を披露しました。清流のぼり打ちは、川を遡上するアユのように、打ち手が十台の太鼓を移動しながら打つダイナミックな曲で、取り組んでまだ二年目ですが、子どもたちは連携をとりながら響く音を味わっていました。

